

一軒家は防犯砂利を敷いたりする「こと」で 防犯対策のアピールを

一軒家だからこそ必要なこと

一軒家に住んでいる方に心がけてほしいのは、「防犯対策をきちんとやっている」アピールです。集合住宅よりも狙われやすい侵入が多い分、防犯意識の高い家であることを主張し、泥棒に侵入を諦めさせるようにしましょう。もちろん、防犯カメラやセンサーライト、防犯砂利の設置、花や緑で人の目を集める工夫など、対策を実際に施して、侵入の死角をつくらないことも大切です。

センサーライトを設置

玄関や夜間暗くなる庭、人目につかず侵入されやすい場所には、動きに反応して点灯する人感センサーライトを設置しておきましょう。お勧めは光量が300ルーメン以上の明るさのものです。

Googleストリートビューから 玄関を削除する

最近ではGoogleストリートビューを使って下見をする泥棒もいます。下見にならないよう、画面の上部にある「問題の報告」から依頼して、自宅にモザイクをかけておきましょう。

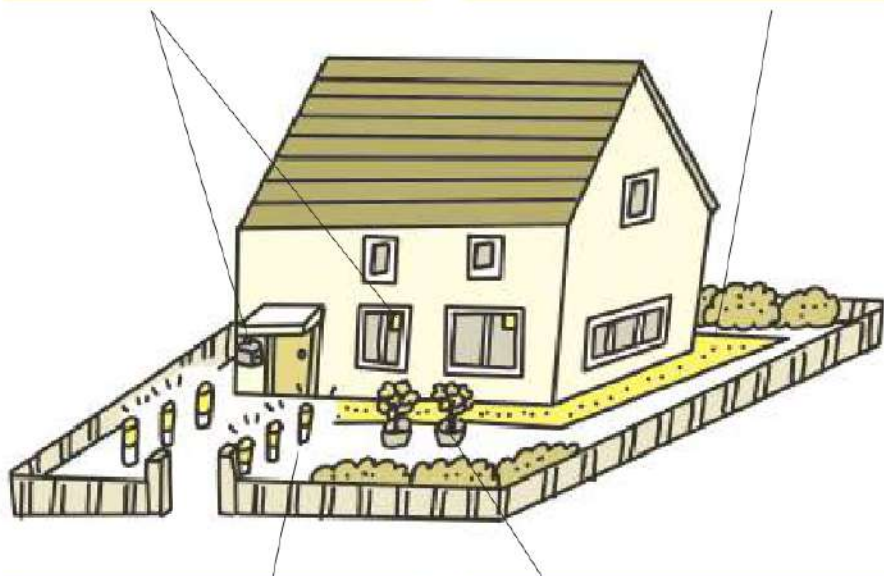
※ Googleストリートビューとは…Google社による世界中の道路沿いの風景をパノラマ写真で提供する地図情報サービスで、インターネットで住所を検索すれば、誰でも見ることができるとのこと。

防犯砂利を敷く

ガラスからつくられた防犯砂利は、軽く踏んだだけで大きな音がします。窓の下、門から玄関までのアプローチ、家の裏側など、泥棒が侵入できそうな場所に80デシベルぐらいの音が出る防犯砂利を敷いておきましょう。

防犯カメラや ステッカーを設置

泥棒は防犯カメラを嫌がります。玄関だけでなく貴重品がしまっているリビング・寝室にもつけておくと安心です。さらに防犯ステッカーを目につくところに貼って、対策していることをアピールしましょう。



「目をひく鉢植え」 を配置

玄関先や庭先、ベランダ、駐車場の脇などに、きれいな鉢植えを飾っておくと人の目をひくことができます。ただし枯れたまま放置するのは厳禁。「いい加減な家でありやすいかも」と泥棒に思われます。

庭をきれいにする

庭があるならガーデニングで整えたり、花壇をつくったりしてきれいにしておきましょう。人の目が集まりやすいだけでなく、手入れが行き届いている家は「防犯意識も高そう」という印象をもたせます。